



ニュー さざんか

発行 吉川町文化協会

事務局：吉川町公民館内
三木市吉川町吉安 246 番地
Tel.0794-72-1577



令和6年度 文化協会活動

今年も文化協会は、成果のあった嬉しい年でありました。会員は多くの方に見てもらったり、聞いていただくのが喜びであります。

そして「今年も元気に上手にやれた。さあ、来年もやるぞ。」と自分を褒めながら、胸をワクワクさせております。今年の文化祭や活動の場には、是非ご来場お願いいたします。

みんなで吉川の文化を楽しみましょう。

第47回吉川町文化祭

令和6年11月7日（木）～10日（日）開催



第5回「音楽祭」 ～ステージで歌って踊ろう！～

令和7年2月8日（土）開催



今年度は33名の方が
出演しました。

～サークル訪問記～

< Let' s enjoy 「らくらく音楽教室」 > 記：ニューさざんか編集委員 谷郷 早百合

令和7年1月20日(日)「らくらく音楽教室」の取材に行かせていただきました。入り口の手前で靴を履き替えていると、部屋の中から楽しそうな笑い声が聞こえてきて、音楽が苦手なハードルが高いなと思っていた私はホッとしました。

会員9名と見学の方1名で教室が始まりました。はじめは自作の楽器の紹介でした。箱をくり抜いた一弦ギター、かわいい手作りお花付き紙皿タンブリン、鍋蓋シンバル、灰皿シンバル、空き缶太鼓と、ユニークな楽器に笑い、感心し、驚きました。



「らくらく音楽教室」では、三木山森林公園で行われるスマイルコンサート(9月)、文化祭(11月)、クリスマス会(12月)に向けて練習を重ねていきます。

『♪天国と地獄』で分担する楽器を、皆さんで話し合いながら決めていきます。講師の川端先生が「やってみる?」「挑戦してみよう」「がんばろう!がんばろう!」と、やる気を引き出す声掛けをされているのが印象的でした。『♪虹の彼方に』は、タンゴドラムとカリンパの美しい演奏でした。タンゴドラムもカリンパ

も初めて見る楽器でしたが、美しい音色が響き合うのを紙面では伝えられないのが残念です。今後、歌と演奏で「らくらく音楽教室」のテーマソングもできるそうなので楽しみです。

教室は、平成27年に「らくらくピアノ教室」としてスタートしました。その後、ピアノだけでなく誰でも音楽を楽しめる教室にしようということで、令和6年に新たに「らくらく音楽教室」がスタートしました。

アンケートでは、全員が「教室が楽しい」と回答されていました。「みんなで演奏できるのが楽しい」「発表会という目標に向かって練習し、完成した時の達成感が喜び」「好きな楽器や様々な楽器を自由に使って練習できるのが楽しい」など、教室では自主性を大切にして皆さん本当に楽しく活動されていました。私が勝手にイメージしていた音楽教室とは全く違って、心の中のハードルがググーっと下がりました。音楽で指を動かすのは、脳トレにもなるそうです。

教室は、吉川町公民館で毎月第1・第3月曜日の9時30分～11時に行っています。部員大募集中です!

< 創造ゆたかに・・・囲碁サークル > 記：ニューさざんか編集委員 西原 和孝

令和7年1月9日(木)、囲碁サークルを訪ねました。今日が「打ち初め」ということで、箱の中の碁石を探る音、時折咳払いが聞こえてくるだけで、会場は静かで緊張感が漂っていました。対局の邪魔にならないかと心配でしたが、「おう」「おっ」と優しく迎えて下さいました。

囲碁は、様々な手を考え、先の先まで読むことから「認知症の防止に役立つ」「想像力が養える」また「気持ちや和らぐ」「自分の世界に浸れる」「集中力が鍛えられる」などなど、人生に役立つことばかり。



囲碁歴20～40年超えのベテランばかりのサークルですが、もうすぐ囲碁歴3年となる小学4年生の豆碁士も。

「テレビなどで活躍している人を見て興味を持った」「おじさんたちがよく教えてくれる」「対局するのが楽しみ」と…。

講師は、谷本宏七段。「勝ち負けにとらわれず、碁を打って、また別の世界をつくりあげる」「お互いを尊重し、高め合うことが大切だ」と教えていただいた。囲碁は難しいと思われがちですが、ルールは簡単ですぐ覚え

られるとのこと。時間が経つにつれ、緊張感の中にも楽しい雰囲気伝わってきます。初めての方でも優しく丁寧に教えていただけます。

活動は、毎週水曜日、午後2時から5時まで。場所は吉川町公民館。初心者、見学也大歓迎。

<全集中 日常を離れ楽しいひとときシュガークラフト>

記：ニューさざんか編集委員 垣崎 美佐子

雪が降り積もった令和7年1月9日（木）にシュガークラフトサークルにお邪魔しました。

シュガークラフトサークルは、最初は公民館の専門講座で「シュガークラフト教室」として開催され、講座を受講した方々によって2017年に結成されました。会員は8名です。

シュガークラフトとは粉砂糖と卵白などで作られたシュガーペーストを使って、本物のように花などの工芸作品を作る技法です。

講師の三村先生は18年前シュガークラフトに出会い、教室に通い講師資格を取られたそうです。三村先生が毎回ペーストを準備し、作品の見本を作製し指導されます。皆さんは見本を見ながら、黙々と作品作りに励んでいました。



毎回違ったテーマを決めているそうで、今回は『練り切り餡』で薔薇とドレスを作りました。「自宅に持ち帰り、家族に見せてから、おいしく頂きます」と皆さん嬉しそうに話されていました。また「季節の移ろいを楽しめたり、製作するときは日常から離れて集中し楽しくストレス発散にもなります。また、自宅に長く飾ることや誰かにプレゼントすることもできるのでずっと続けたい」と楽しそうでした。

皆さんが製作している間、三村先生は片付けやお茶の準備などもされていて、優しいお人柄が伝わりました。作品が出来上がったあとは、皆さんで観賞しながら感想を言い合ったり、次回のサークル活動について話したり、ほのぼのとした時間を過ごしておられました。



県下播州音頭踊り保存会 第30回研究発表会

記：ニューさざんか編集委員 藤田 均

令和6年12月15日（日）に、県下播州音頭踊り保存会の第30回研究発表会が、吉川町公民館大ホールで開催されました。播州音頭は吉川町が発祥の地として伝わっています。

今回は、加西市・吉川町・加東市社・加東市東条の4団体の保存会による音頭や踊りの披露となりました。

音頭は、符牒が決まっており『高地』とあれば、一番初めに用いられる節、初めの句にシャクリが入り高音の唄い方・一節を一人担当すると決まっています。

他に『下地、叩き、クセ地』などがあり、太鼓の進行により流れて行きます。同じ題目でも唄う人により、強弱や高低の違いによって変わります。そこが面白いところです。



吉川音頭踊り保存会

踊りも色々工夫されており、保存会によって見せ場が作られています。4団体でそれぞれ太鼓の配置等も異なり、独特の感じが楽しめました。

中でも音頭の唄は、大きな声で「ここが聞かせる所やな」と思う所があり、普段の稽古を存分に発揮されておりました。踊りもよく揃っており、さすがと思う動きで、素晴らしい出来でありました。

播州音頭の継承が後継者不足で団体の数も減っているようですが、郷土芸能の題目をやり切った時の爽快感を共有できる仲間を増やしてもらい、今後の活躍を念じたいと思います。吉川町での発表会どうもありがとうございました。



令和6年度 吉川町文化協会加盟団体一覧表

No.	団 体 名	活 動 内 容	活 動 日	会員数
1	寿希恵会	新舞踊	第1・3火曜	3
2	青柳流詩舞	詩舞	第1・2・3金曜	4
3	らくらく音楽教室	楽器演奏等	第1・3月曜	5
4	吉川白萩俳句会	俳句	第2土曜	11
5	斧俳句会	俳句	第2金曜	7
6	書道サークル	書道	第2金曜	10
7	絵手紙サークル	絵手紙	第2土曜	13
8	みよし茶道サークル	茶道	火曜・随時	5
9	囲碁サークル	囲碁	毎週水曜	8
10	よかわ歴史サークル	町内歴史調査研究他	第3木曜	28
11	フォトみのう	写真	第3土曜	11
12	吉川陶芸サークル	陶芸	第2月曜・第4日曜	10
13	吉川音頭・踊り保存会	音頭踊り保存	第2・4水曜	9
14	シュガークラフトサークル	シュガークラフトサークル	随時	8
15	コーヒークラブ	コーヒー焙煎	第2・4土曜	10
16	Emi歌謡サークル	カラオケ	第1・3月曜	13
17	フラワーサークルわたぼうし	フラワーアレンジメント他	月2、3回土曜	16

【ご案内】

吉川町文化協会は創立三十三周年を迎え、現在十七の団体、会員数は延べ百七十一名により各分野で活動しています。この機会に皆さんも文化協会加盟の団体に参加し、いっしょに楽しみましょう。お待ちしております。

お問い合わせは吉川町公民館まで 電話(72)ー577

編集後記

吉川町文化協会機関誌「ニューさざんか」十八号をお届けします。

今年度は、三木市内の文化祭見学会を実施し、参加しました。力作の展示、舞台発表にと、楽しいひとときを共有しました。どの地域でも高齢化、会員の減少は課題となっているようでした。いかに乗り越えていくか、何かこれからの活動の参考になればと思います。

今号は、〳サークル訪問記〳第二弾をお届けしています。

ニューさざんか編集委員が各サークルを訪問し、いろいろな角度から見聞かしています。サークルの様子、内容、雰囲気等を良く感じていただけたでしょうか。これからも「笑顔と元気で魅力ある吉川町」の文化の感動や喜びを紹介していきます。

さあ、次号はどのサークルに訪問できるでしょう。訪問希望のサークルは申し出てくださいね。気になるサークルがあれば一度、覗いてみてください。

令和七年四月吉日

ニューさざんか編集委員

池澤 絹代